



「夢のたすき」渡したい

那須烏山市が文武両道教育推進事業の一環で、東京箱根間往復大学駅伝で活躍した神奈川大陸上競技部の

選手らを招致した。同市学校教育課の小堀佑真さん(24)「同市大里」は、母校である同大に出向き監督や後輩に呼び掛けて道筋をつけた。

自らも同大3、4年時、箱根駅伝に出場。現在も時間を見つけ市内の中学、高校で技術指導を行う。「駅伝の経験を生かして仕事をできるのは幸せ。日本を代表する市出身の選手が生まれば」と子どもたちに「夢のたすき」を渡し続ける。